

達人リコメンドの四国(ウェルかめ編)

日和佐(徳島県美波町)

民宿「はまもと荘」に宿泊して、ランチは「笹原」のうどん。大浜海岸で赤ウミガメの産卵を見て、波美(ナミ)さん達の成長を見守ります。平成21年度下期のNHK朝の連続テレビ小説は、徳島県海部郡美波町を舞台にした「ウェルかめ」でした。

美波町…なんて聞いた事ないって?平成18年に日和佐町と由岐町が合併して、そんな名前になりました。公共交通が不便でクルマ無しでは生活できないこの地区で、クルマは一家に一台じゃなく、一人一台が常識のこの場所で主人公たちが、徳島・日和佐間を列車で通勤していたなんて信じられない設定にビックリです。

「そんな無茶な通勤をするなら、普通、中古の軽自動車など買うやろ〜!」

などとツッコミながらも150回全て録画してパーフェクトに視聴。しかもエンディング写真の募集に投稿したところ採用されて全国ネットで紹介されました。

ヒロイン波美役の倉科カナさんの追っ掛け?いえいえ、どちらかと言えば綾さんの方が好みのタイプかな…ってテレビ見てない人には全くわからない話ですよ。



さて、そんな理由から久々に、日和佐を訪問してみました。観光コースはうみがめ博物館カレッタ、大浜海岸、薬王寺、日和佐城などというガイドブック通りの定番もの。

カレッタはリニューアルして清潔に保たれ、博物館と共に還暦を迎える屋外プールのカメさんも気持ち良く泳いでいました。館内クイズラリーがあって、可愛いイラストで飾って子供が遊べる博物館に変身。改装前しか行った事がなければ進化を自分の目で確かめてみてはいかがでしょうか。参考までカレッタとは、アカウミガメの学名(Caretta)です。



カレットの前に広がるのが、ウミガメが産卵に上陸する大浜海岸。ウミガメの上陸の時期は、5月中旬から8月上旬で、上陸個体数が減った現在の情報はいざ知らず、過去の話で申し訳ありませんが、その時期にたまたま隣の国民宿舎「うみがめ荘」に宿泊したところ、産卵をこの目で見た事があります。涙を流しながらピンポン玉みたいな卵を自分で掘った穴に産んで、後で砂をかけて海に帰って行くという一連の行動ですが、夜遅く館内放送が流れ、眠い目をこすりながら浜に出て、卵を産み落とすシーンを静かに眺めたという贅沢な体験をした覚えがあります。現在も運が良ければ、そんな体験ができるのでしょうか。



薬王寺は四国第23番札所で、厄除けのお寺として有名です。女厄坂33段、男厄坂42段、還暦厄坂61段。まずは山門横の事務所で、小銭を1円玉に両替。厄坂と呼ばれる階段に(厄に見立てた)1円玉を一枚ずつ置いて厄落とし。



昔から人間の一生を統計的に見て身体の調子悪くなる時期が、女性なら33歳、男性なら42歳だという理由から「厄年」なんて時期が設定され、前厄から後厄の三年間は注意するよう言われ続けています。信じる信じないは別として、そんな時期は神頼みが一番ゆえ、厄除けのご祈禱などしてみるのも、安心を買うという意味では、良いのではないのでしょうか？

私の場合は、原点に帰りたくなったら、京都の上賀茂神社、センチになったら、薬王寺と勝手に決めています。どうもこの一年、怪我や病気が多かったので神頼みを実行！願いを込めて、男厄坂に一円玉を一枚ずつ落としていきます。

「投資総額42円で安心を〜！」

って安物の保険会社のセールスみたいな事言ってますが、この時期の薬王寺はもっと凄い。本堂、大師堂レベルの桜が満開で、続いてもう一つ上の日和佐のランドマークでもある瑜祇塔付近の桜が三分咲きと、山全体が桜で飾られた状態で、厄を落としただけでなく幸福まで拾った気分になりました。見頃は4月初旬ですかね？上の桜が満開、本堂付近で桜吹雪が舞うなんてシーンを想像しただけでも、絵になる風景です。



桜の時期の美波町日和佐、半年間私を楽しませてくれたNHK朝の連続テレビ小説「ウェルかめ」の舞台として、「薬王寺」と「大浜海岸」に「うみがめ博物館カレッタ」を合わせて達人リコメンドの風景と勝手に認定したいと思います。



追伸・・・今回の大発見は、徳島から55号バイパスを走って那賀川町に入って、たぶのせ橋と幾島橋を越えてすぐの道路沿いにある「弘伸丸」という名のお魚食堂。由岐町伊座利の漁師の大将が、その日の朝に釣ってきた魚を調理しているそうで、評価は、新鮮な刺身といい・・・上品な味付けの煮物といい・・・史上最高！あまり素晴らし過ぎて誰にも教えたくないリコメンドの食堂です。

ともかく、700円持って暖簾をくぐれば答がわかります。



以上平成22年3月30日記（旅は3月28日）

Top
トップ
↑

Back
戻る



[達人リコメンドの四国\(石鎚編\)](#)